



愛知人文社会
ルネッサンス
Aichi Renaissance Japanese Studies

伝統の発見者となり、
グローバル時代の
文化創造の主演となる

愛知県立大学
日本文化学部

Aichi Prefectural University
School of Japanese Studies

日本文化学部への招待



AICHI PREFECTURAL UNIVERSITY

日本文化学部への招待

日本文化学部は、日本のことばと文学、歴史と社会を探究する学びの場です。人文社会系の学部として、普遍的な人間の文化を深く理解し、新しい文化を創造し、現代社会の課題に応じていくことのできる人材を育てることを目指しています。

日本文化学部は、国語国文学科と歴史文化学科の二つの学科で構成されています。愛知県立大学創立以来の長い伝統を誇る国語国文学科と、時代の要請に応じて世界を視野に置いて革新をつづける歴史文化学科は、共に、学生が豊かな教養・知識をもち、自ら考え、行動し、現代社会を生き抜く力を身につけることができるよう、教育・研究を展開してきました。

日本文化学部は、学部の教育理念を「愛知人文社会ルネッサンス」という標語に掲げています。愛知という地域に根ざしながら、視野は広く世界に開き、グローバル時代の文化創造の担い手を育てることが目標です。日本文化学部の教員の専門はさまざまです。多彩な学問の魅力を存分に味わうことができます。そこから自らの核となる課題を発見してください。

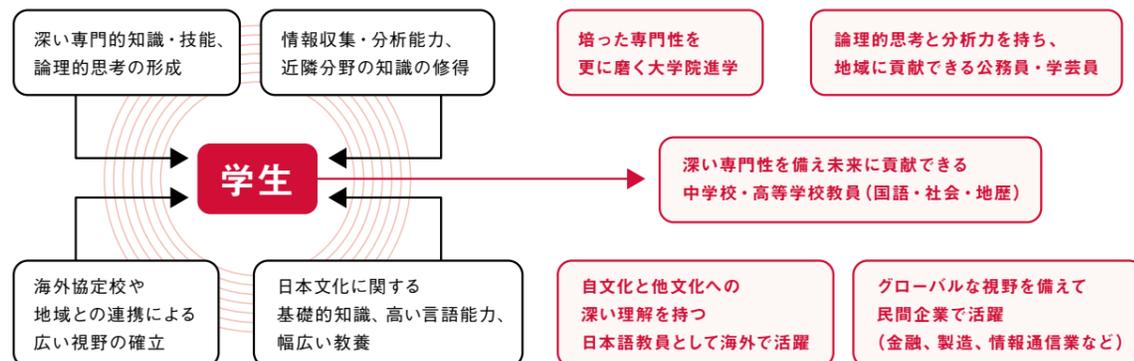
日本文化学部でお待ちしています。

日本文化学部長 丸山 裕美子



日本文化学部の教員が 窓口になっている 海外協定大学

- [スペイン・ポルトガル語圏] ブラジル・サンパウロ大学、ペルー・カトリカ大学、スペイン・CEUサン・パブロ大学、ポルトガル・ミーニョ大学
- [中国語圏] 台湾・東呉大学、中国・四川師範大学
- [ロシア語圏] ウズベキスタン・サマルカンド国立外国語大学



日本文化学部専門教育科目

国語国文学科							
科目区分	授業科目	設置年次及び単位				必修単位	
		I	II	III	IV		
学部共通科目	日本文学概論	4			4	4	
	比較文化史	4			4	4	
	世界の中の日本のことば・文学	4			4	4	
	災害・文化・くらしの特別研究			2		2	
学科基礎科目	国文学基礎研究(上代)	4			4	8	
	国文学基礎研究(中古)	4			4		
	国文学基礎研究(中世)	4			4		
	国文学基礎研究(近世)	4			4		
	国文学基礎研究(近代)	4			4		
	国語学基礎研究	4			4		
	漢文学基礎研究	4			4		
	国文学史(上代・中古)	2			2		4
	国文学史(中古・中世)	2			2		
	国文学史(中世・近世)	2			2		
	国文学史(近世・近代)	2			2		
	国語学概論	4			4	4	
	国語史		4			4	
	漢文学	4			4	4	
学科基幹科目	国文学概論			4	4	4	
	国文学各論(上代)			4	4		
	国文学各論(中古)			4	4		
	国文学各論(中世)			4	4		
	国文学各論(近世)			4	4		
	国文学各論(近代)			4	4		
	国語学各論			4	4		
	漢文学各論			4	4		
	国文学特殊講義		2		4		
	国語学特殊講義		2		4		
	漢文学特殊講義		2		2		
	国文学研究(上代)			4	8	20	
	国文学研究(中古)			4	8		
	国文学研究(中世)			4	8		
	国文学研究(近世)			4	8		
	国文学研究(近代)			4	8		
	国語学研究(音韻・表記)			4	8		
	国語学研究(文法・表現)			4	8		
	漢文学研究			4	8		
	国文学演習(上代)			4	8		
	国文学演習(中古)			4	8		
	国文学演習(中世)			4	8		
	国文学演習(近世)			4	8		
	国文学演習(近代)			4	8		
国語学演習(音韻・表記)			4	8			
国語学演習(文法・表現)			4	8			
漢文学演習			4	8			
卒業論文演習			4	4	4		
国文学実習			1	1			
国語学実習			1	1			
卒業論文	卒業論文			8	8		8
関連科目	書道Ⅰ	2			2		
	書道Ⅱ	2			2		
	言語学			4	4		
教職科目	教科教育法(国語)Ⅰ		2		2		
	教科教育法(国語)Ⅱ		2		2		
	教科教育法(国語)Ⅲ		2		2		
	教科教育法(国語)Ⅳ		2		2		
	教育実習(中学校)Ⅰ			2	2		
	教育実習(中学校)Ⅱ			2	2		
	教育実習(高等学校)Ⅰ			2	2		
	教育実習(高等学校)Ⅱ			2	2		
海外協定修得科目	海外研修(文学・コミュニケーション)		8		8		
計(61科目)						88単位	

歴史文化学科						
科目区分	授業科目	設置年次及び単位				必修単位
		I	II	III	IV	
学部共通科目	日本文学概論	4			4	4
	比較文化史	4			4	4
	世界の中の日本のことば・文学	4			4	4
	災害・文化・くらしの特別研究			2		2
学科基礎科目	歴史文化入門	2			2	2
	歴史文化概論	2			2	4
	比較文化概論	2			2	
	社会文化概論	2			2	
	歴史文化基礎演習Ⅰ	2			2	
	歴史文化基礎演習Ⅱ	2			2	
	比較文化基礎演習Ⅰ	2			2	
	比較文化基礎演習Ⅱ	2			2	
社会文化基礎演習Ⅰ	2			2	2	
社会文化基礎演習Ⅱ	2			2		
歴史文化	日本史概説	2			2	10
	歴史地理学			4	4	
	比較考古学			4	4	
	歴史学(美術)			4	4	
	歴史学(史学史)			2	2	4
	歴史学(地域)			4	4	
	歴史学(比較)			4	4	
	歴史学(社会)			4	4	
	歴史学(思想・宗教)			4	4	
	比較文化	世界史総論			4	4
世界史各論				2	2	
比較社会論				2	2	
社会思想史				2	2	
現代思想論				2	2	8
文化交流史				4	4	
文化人類学総論				4	4	
比較法政治学				4	4	
社会文化	メディア論			2	2	8
	地域文化論			2	2	
	歴史社会学			2	2	
	現代日本社会学			4	4	
	地誌			4	4	8
	人文地理学			4	4	
	日本民俗学			2	2	
	地域社会学			4	4	
家族社会学			4	4		
資料学	歴史文化資料学(歴史文化)Ⅰ	2			2	4
	歴史文化資料学(歴史文化)Ⅱ	2			2	
	歴史文化資料学(比較文化)Ⅰ	2			2	
	歴史文化資料学(比較文化)Ⅱ	2			2	
	歴史文化資料学(社会文化)Ⅰ	2			2	8
	歴史文化資料学(社会文化)Ⅱ	2			2	
	近世文書演習			4	4	
	古代・中世文書演習			4	4	
資料調査法			4	4	4	
外国語文献講読			4	4		
歴史文化学演習			4	4	8	
卒業論文	卒業論文			8	8	8
関連科目	博物館概論			2	2	8
	博物館経営論			2	2	
	博物館資料論			2	2	
	博物館資料保存論			2	2	
	博物館展示論			2	2	
	博物館情報・メディア論			2	2	
	博物館教育論			2	2	
	博物館実習(事前事後指導)			2	2	
	博物館実習			1	1	
	自然地理学			2	2	
教職科目	経済学			4	4	4
	国際法総論			4	4	
	教科教育法(社会・地歴)Ⅰ		2		2	2
	教科教育法(社会・地歴)Ⅱ		2		2	
	教科教育法(社会・公民)Ⅰ		2		2	2
	教科教育法(社会・公民)Ⅱ		2		2	
	教育実習(中学校)Ⅰ			2	2	2
	教育実習(中学校)Ⅱ			2	2	
教育実習(高等学校)Ⅰ			2	2	2	
教育実習(高等学校)Ⅱ			2	2		
海外協定修得科目	海外研修(海外文化事情)		8		8	
計(73科目)						88単位



日本文学部

国語国文学科

国語国文学科は、文学や思想に興味ある人の居場所であり、ことばの仕組みや特徴を明らかにする学科です。国語学・国文学・漢文学の大きく三つの分野があります。

国語学では古代から現代にいたる日本語の歴史の変遷や、方言を含む日本語の仕組みを学びます。また、文献に記された過去の言語や現在実際に話されている言語の分析を通して、そこに反映される規則性や文化を明らかにします。国文学・漢文学では、古代・中世・近世・近現代の日本文学と漢文学の作品の中に多様に描かれる人と人、人と社会との多様な関係を汲み取り、人の心の本質を探っていきます。それらの研究にあたって、私たちの生きる社会的・文化的な枠組みとしての日本を、言語と文学という視座から見つめ、常に世界との関係を意識しながら研究していきます。

ここでの学びは、日本に生きる私たち自身の思想、行動について改めて考えることにつながり、そこにあなただけの新しい発見があるでしょう。それは、目まぐるしく変化する国際社会の中で生きていくための土台となります。大学時代の学びから、社会に対する多面的な見方としなやかな自己を見つけましょう。

稀書の会

伊藤 彩乃さん



伊藤先生は、愛知県立大学図書館の貴重書の調査研究を行うことを目的とした、学生・院生たちのグループ「稀書の会」の活動を行っています。地元の博物館や資料館、情熱感じられる文学名所を訪れるなどの実地調査活動に、ゼミ生たちも多く参加しており、古典籍の魅力に親しむと共に見聞を広めています。和歌詩歌について学んでいくだけでなく、古典籍や愛知県の文化に興味がある方にも良い経験が得られます。

授業紹介

李 澤珍先生 [2023年着任、上段写真右から2番目]

「国文学概論」(2023年度後期)の授業では、古代から近代初期までに日本で作られた和綴りの書物、すなわち日本の古典籍を扱います。古典文学の殆どは、書物という「物」に書かれ、現在まで伝わっており、それらを調査・研究するときには、内容だけではなく、「物」としての形態についても考える必要があります。

この授業では、書物を「物」として捉えるための基礎知識をはじめ、古典籍の歴史の変遷、構成要素とその特徴、さらにはそれにまつわる文化的背景について学びます。教員による講義を基本としますが、受講生が直接古典籍の現物を手に取って観察し、書誌情報を記録してみる実習も交えた形式で進めていきます。この授業を通して、書物を作り、伝えてきた日本人の知的営為について理解を深めるとともに、文学研究の基礎として書物を調査・研究する意義と、書物そのものの魅力を知ってもらいたいです。

国語国文学科の特色ある授業

先端的な横断検索を和歌文学研究でなす

伊藤 伸江先生

私の専門は日本の中世文学、和歌及び連歌文学です。学部3・4年生が受講する研究・演習科目では、主に韻文の文学作品の読解を学生の皆さんと進めています。

近年、和歌・連歌文学の研究においては、古代から近世に及ぶ膨大な和歌・連歌作品のデータベースが整備され、詳細な検索が可能かつ不可欠となりました。県大の国語国文学科では、2023年度から、日本文学Web図書館による文学作品の検索を取り入れています。この授業の演習時には、和歌作品の言葉を検索し、類似表現を読み込みます。近隣競合大学の国文学系学科ではまだ導入していないデータベースの活用により、参加者全員で疑問を共有し、検索結果を見ながら一斉に考えていく、理解度・満足度のより高い授業となっています。

また、このように、ネット上で先端的な横断検索を駆使する形に進みつつある研究形態の補完として、県大の図書館の貴重書、地域の古典籍や史跡を実地に調査研究し、守る姿勢をはぐくむ稀書の会の活動も毎年行なっています。

新入生歓迎旅行

教員・新入生の親睦を深めるために、毎年四月に日帰り旅行を実施しています。昨年度は学科の教員・新入生・在学生(希望者)とともに、犬山市に現地集合し、犬山城、三光稲荷神社、針綱神社、犬山市文化史料館(城とまちミュージアム+IMASEN犬山からくりミュージアム)、どんでん館、旧磯部家住宅周辺など城下を自由散策してきました。



着る・触れる・学ぶ

日本古代の衣装 ~書物と復元から~

本学科教員が企画した公開講座(本学の地域連携センター主催)です。中古文学における衣装について研究をされ、文献から当時の衣装の復元もされている愛知文教大学の畠山大二郎先生と洋裁師であり歴史衣装を実作されているeri先生を講師にお迎えし、畠山先生には平安時代の衣装を、eri先生には中国古代の衣装について、復元した衣装とともに解説していただくとともに、講師のご協力を得て実施した復元衣装の着衣体験もおこなわれました。



国文学会

国語国文学科では、毎年5月~6月頃に「国文学会」を開催しています。この会では前年度に提出された卒業論文の発表のほか、国語学・国文学・漢文学各分野の著名な研究者を招いて講演会をおこなっています。昨年度は卒業生三名による卒論発表と塩村耕先生(近世文学)による講演を開催しました。



読書人カレッジ

「読書人カレッジ」は「週刊読書人」(株式会社読書人)と公益財団法人日本財団が立ち上げた大学生の読書支援事業です。本学では2022年には小林康夫先生「君自身の読書のために本の読み方—世界を読むための知の実践について」を、2023年には苅部直先生「明治日本のポピュリズム?—福澤諭吉「学問のすゝめ」第十三編を読む」を開催しました。



近世文学ゼミ



李 澤珍

〔国文学/近世文学 書誌学〕

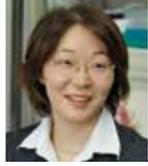
ゼミ生によるゼミ紹介

昨年度は『諸国百物語』という近世の怪異小説を扱い研究・発表を行いました。発表は一回の授業につき一人が行い、その後質疑応答の時間があります。発表資料の作り方や発表方法については、先生が丁寧にサポートしてくれるため安心して取り組みます。近世文学には仮名草子をはじめ、浮世草子や読本、草双紙など幅広いジャンルがあり、挿絵も面白い点や典拠となった作品との比較等を通して先行研究にはない新たな発見が多くできる点が魅力です。少しでも興味を持った方はぜひ受講して下さい！



鈴木柊花さん

中世文学ゼミ



伊藤 伸江

〔国文学/中世文学 和歌・連歌〕

ゼミ生によるゼミ紹介

伊藤ゼミでは、中世和歌文学を中心に扱います。貴族たちの宮廷文化から、時代と共に新たな歌風や技巧が生まれては論や歌会が白熱し、芸術文化として練り上げられていく中世の和歌文学の奥深さを学びます。昨年度は、『玉葉和歌集』と『新古今和歌集』を取り上げ、学生同士で歌の表現や背景について調査発表と議論を行いました。ゼミでの活動を通して、歌の三十一音の限られた形式の中で歌人たちが選びぬいた表現にじっくりと向き合って考察する力と、和歌文化への理解を養います。



伊藤彩乃さん

中古文学ゼミ



本橋 裕美

〔国文学/上代・中古文学 物語文学〕

ゼミ生によるゼミ紹介

本橋ゼミでは奈良時代から平安時代に書かれた文学作品の研究をしています。『源氏物語』をはじめとした中古文学を学び、「ものあはれ」を感じられるのがこのゼミの面白さの一つだと思います。具体的な授業内容としては、発表と質疑応答を何度も行います。



ゼミ生一同

そして、ゼミ生や先生からのフィードバックを活かして自分の意見を練り上げ、卒業論文として完成させます。一年かけて同じ作品やテーマと向き合い続け、新たな知見を生み出せる喜びは大きいですよ。

近現代文学ゼミ



若松 伸哉

〔国文学/近代文学 小説・評論〕

ゼミ生によるゼミ紹介

若松ゼミは皆さんが一度は聞いたことがある夏目漱石や太宰治など、近代に活躍した作家の作品を扱います。講義ではゼミ生一人一人が好きな作品を担当し、その作品についての考察をゼミ生全員で議論します。



原田真梨菜さん

最初は考察を立てるのが難しいかもしれませんが、議論を経て、数々の新たな発見がありますので、自分の考察がどんどん良いものになっていきます。ぜひ我々と共に近代文学を味わいましょう。皆さんにお会いできるのを楽しみにお待ちしております。

漢文学ゼミ



洲脇 武志

〔漢文学/中国古典学 中国中世の学術〕

ゼミ生によるゼミ紹介

洲脇ゼミでは、中国の歴史書の一つである『漢書』を読んでいます。中国の歴史や文化はもちろん、中国古典を読解するためのツール・コツを学ぶことができるため、国語学・国文学の研究や資料読解にも活用することもできます。何より少しずつ漢文の書き下しができるようになった時には、格別の楽しさやわくわく感を味わうことができます！漢文に少しでも興味がある方は、ぜひ一緒に学んでみませんか？



ゼミ生一同

中世文学ゼミ



中根 千絵

〔国文学/中古・中世文学 説話文学〕

ゼミ生によるゼミ紹介

私たち中根ゼミは主に中世文学を扱うゼミです。自分たちで説話・伝承文学を読み、その物語の中で気になった点について、典拠を調べることでどんなものから影響を受けた作品なのかを考察したり、諸本や似た物語の比較をしたりすることを通して、特徴や意義を見つけるということを行います。今年は『御伽草子』を中心に卒業論文を書きました。皆さんもよく知っているであろう『浦島太郎』『一寸法師』なども収録されていますし、『酒吞童子』などサブカルチャーで名前を見る作品もあります。物語を読むことや日本史が好きであれば、講義の中で新しい視点を得られ、色々な学びが出来ると思います。面白いですよ！



杉本楽人さん

大川 孔明 〔日本語学/文体論 計量言語学 コーパス言語学〕



日本語学、特に文体の歴史について専門としています。「日本語」と一言で言っても、細かく見ていくとなんらかの集団や領域によってまとまったことばの特徴が見られます。たとえば、『源氏物語』と『紫式部日記』は作者が同じですから、似ているところはもちろんありますが、『源氏物語』と『蜻蛉日記』の方が使用されていることばが似通っている場合もあります。

これらは個々の作品間の関係だけでなく、一定の統一性を持ったまとまりを持つことがあるのです。こうした一定の領域における言語使用の特徴の実態解明をしています。そこにはただ見聞きするだけでは気づけない日本語の特徴があります。そうした点を一緒に探してみましよう。

2024年4月
新任教員紹介

日本語学ゼミ

在学生

御前 凜さん

(復元衣装を試着する御前さん)



国語国文学科の授業では、1、2年生から自身で興味のある分野について研究を行うことができます。講義を聞くだけでなく、自分で調査・考察する実践的な学びができ、私は中古文学の基礎研究の授業で前期は『伊勢物語』の初段・四十一段における「紫草」について、後期は『うつほ物語』俊蔭巻における俊蔭の異郷訪問譚について調べました。自身で注釈書や論文を用いて調べることはとても大変ですが、充実した学びを得られる貴重な時間です。他の学生の発表を聞くことで自身の考えを深めることができます。

また、講義以外にも大学や学部学科が主催する公開講座にも積極的に参加するようにしています。特に印象的であったのは、十月に開催された古代衣装の復元についての公開講座です。日本古代の宮廷衣装や「深衣」と呼ばれる中国の古代衣装などを文献資料から現代に復元する過程のお話を聞いたり、実際に復元された衣装を着用したりと貴重な体験をさせていただきました。

在学生

若宮 理紗さん

(ゼミに参加する若宮さん
:写真中央)



私は和歌文学に興味関心を持っており、所属している伊藤伸江先生のゼミでは、中世和歌についての勉強をしています。授業は学生が一人二首ずつ和歌を研究して発表し、先生からのご指導をいただくという形で進みます。発表のレジュメづくりは大変ですが、とてもやりがいがある楽しいです。調査の中で私が特に好きなのは、和歌に使われている句や語彙が、それ以前に詠まれた和歌ではどのように使われていたのかを一つひとつ調べるという作業です。その作業をすることで、当時の言葉のあり方が、現代の私たちにとってのそれとは違うのだとあらためて感じ、言葉は生きているのだとしみじみと思い知ります。また、和歌というたった三十一文字のみの世界だと思われるかもしれませんが、歌人達の人間関係や散文なども深い繋がりがあり、調べれば調べるほど和歌の世界が広がって面白みが増すところも魅力です。そのため、授業での発表後はやり終えた達成感ももちろんありますが、「もっと調べたかったのに、時間が全然足りなかったな」といつも少し悔しい思いをしているほどです。



日本文化学部

歴史文化学科

歴史文化学科は、世界から見た日本の歴史・文化とは何かを考え、多角的な視点から、私たちの社会を考える学科です。歴史文化学科では、歴史文化学・社会文化学・比較文化学を三本柱として、日本の歴史・文化・社会を学びます。高等学校における歴史総合、日本史探究、世界史探究、地理総合、地理探究、公共、倫理、政治・経済のすべての科目の学びを深めることができます。日本、そして世界を歴史学の方法で探究し、現代社会の諸相を社会学・地理学・法学などの複眼的方法で考察し、他地域・文化との比較を繰り返しながら、人間の歴史・文化・社会の将来を創造的に展望する見識と実践力を獲得することが目的です。現代社会の課題発見と将来展望との関係で、歴史文化学の各領域について、専門的に学ぶことができます。グローバル化する国際社会の今後を展望するにつれ、いかなる由来で現在があるのかという足元を見する視点は、今後ますます重要になるはずです。

歴史文化への視座を踏まえた確かな知的創造力の発信者となるために、本学科での学びは必ず役立ちます。行政の現場で地域文化の発展に貢献できる人材、産業界の要請に応じて変動著しい国際情勢に対処できる人材、学校や博物館など教育機関・文化施設の運営の核となる人材、出版・マスコミなどの文化産業で活躍できる人材など、求められる各方面へ羽ばたくためのかけがえない助走期間として、歴史文化学科での大学生活を充実させてください。

歴史文化学科の新カリキュラム [2024年度~]

1・2年で歴史文化学・比較文化学・社会文化学コースの様々な科目を履修し、3年で自分の専門を絞り、4年で卒業論文をまとめます。

	学部共通科目	学科共通科目	資料学	歴史文化学	比較文化学	社会文化学	教養・関連科目
1年	[必修] 日本文学概論 [選択] ●比較文化史 ●世界の日本のことば・文学	[必修] 歴史文化学入門		①歴史文化学概論 ②歴史文化学基礎演習Ⅰ・Ⅱ	①比較文化学概論 ②比較文化学基礎演習Ⅰ・Ⅱ	①社会文化学概論 ②社会文化学基礎演習Ⅰ・Ⅱ	[必修] 教養教育科目 [希望者のみ] 資格に関する科目 ●教職：中学社会 ●教職：高校地理 ●学芸員 (教職：高校公民) (司書教諭) (日本語教員)
2年	災害・文化・くらしの特別研究	[選択] ●近世文書演習 ●古代・中世文書演習 ●資料調査法 ●外国語文献講読		③歴史文化資料学(歴史文化)Ⅰ・Ⅱ ④[ゼミ] 歴史文化学演習(上川・丸山・クラマー)	[選択] ●歴史地理学 ●比較考古学 ●歴史学(史学史) ●歴史学(地域) ●歴史学(比較) ●歴史学(社会) ●歴史学(思想・宗教)	③歴史文化資料学(比較文化)Ⅰ・Ⅱ ④[ゼミ] 歴史文化学演習(内記・イスマフ)	[選択] ●人文地理学 ●日本民俗学 ●地域社会学 ●家族社会学
3年						④[ゼミ] 歴史文化学演習(井戸・塚田・藤部)	
4年		[必修] 卒業論文					

1年前期/学部共通科目と学科共通科目(歴史文化学入門)を履修します。1年後期/各コースの概論(①)から2科目以上、基礎演習(②)から2科目を選択します。2年/各コースの歴史文化資料学(③)から前期1科目、後期1科目を選択します。①~④は、同じコースの科目を履修しても、異なるコースの科目を履修しても自由です。2年次から履修できる資料学では、文書演習、現地調査、外国語文献講読により、基礎的な研究能力を養います。1年次から自らの関心に従って、多彩な講義科目の中から自由に選択し、徐々に希望するゼミを決めてください。3・4年/歴史文化学演習(④[ゼミ])から1つ選択し、4年間の集大成として卒業論文をまとめます。

世界の中の日本の歴史・文化とは何かを考え、多角的な視点から私たちの世界を考える学科

新教育プログラム“世界へ発信する歴史文化カリキュラム”が始動します

新教育プログラムは、歴史だけではなく、高校の地歴・公民、全科目の学びを深め、発展させることができる三つの視点とコースです。歴史に即した視点を学ぶ歴史文化学コース。現代社会を見据える視点を学ぶ社会文化学コース。世界の異文化と比較する視点を学ぶ比較文化学コース。三つのコースの科目を自由に選択しながら、徐々に自分の専門領域を見定めていくカリキュラムで、広い知識と探究力が身につきます。また、資料学では、古文書や絵図・地図等を扱いながら、現地調査を行ったり、外国語文献を読み解きます。実践的な演習をこなし、基礎的な研究能力を身につけます。

新入生歓迎旅行

歴史文化学科では、毎年初夏に、1泊2日の新入生歓迎旅行を実施しています。専門の教員の解説で、歴史遺産や地域文化を実地で学びます。同時に、新入生同士や、上級生・教員との親睦を深める機会になっています。



資料調査の技法を学ぶ

考古学にかかわる授業では、実際に遺跡の発掘調査で出土した考古遺物を手に取って、実測の原則や拓本の取り方などを学びます。また歴史学や歴史地理学の授業では、直接、古文書や典籍の原本にふれ、その扱い方を学びます。文化財レスキューの講座も設けており、災害にあった資料を救済する手段を実践的に学ぶなど、資料調査の基本的な技法を身につけることができます。



フィールドワーク

歴史文化学科の授業は、大学構内にとどまるものではありません。多くの授業で、フィールドワークを取り入れています。自治体の協力を得て、古文書の調査をしたり、史跡をめぐるたり、調査対象地を訪れてインタビューやアンケートをとったりして、学びを深めています。1年生の必修科目である「基礎演習」や2年生の「歴史資料学」「資料調査法」などでは、積極的にフィールドワークが行われています。



学芸員になるために

歴史文化学科の学生は、半数近くが学芸員資格を取得します。実際に学芸員として就職するのはとても難しいのですが、近年は大学院に進学した学生を中心に、地域の自治体に学芸員として採用されることも増えてきました。学芸員資格のための授業のうち、3・4年生で受講する「博物館実習(事前事後指導)」では、博物館のバックヤード見学を行ったり、キャンパスツアーを企画したり、図書館展示を構想したりしています。



社会学ゼミ



井戸 聡

[社会学/地域・文化・観光・環境]

ゼミ生によるゼミ紹介

井戸ゼミでは、分野を問わない様々な事象について「社会的に考察する力」を鍛えています。ゼミ生は、それぞれ興味がある分野を研究テーマとして選びます。(ex. アイドル、映像コンテンツ、クラシック音楽)



ゼミ生一同

井戸先生は幅広い知識をお持ちで、研究発表の際には、どのような話題に対しても的確な意見をくださり、学生の視野を広げてくれます。ひとつのゼミで多くのジャンルの内容に触れることができるのが、他のゼミには無い、井戸ゼミの良いところです。

日本中世史ゼミ



上川 通夫

[日本史/日本中世史]

ゼミ生によるゼミ紹介

私たちのゼミは日本中世史を主とし、近世史も含め、研究に励んでいます。2024年卒業のゼミ生は、「中世前期の女性と武家社会」「室町幕府解体期の足利将軍」「勸進猿楽と室町社会」「平家再建論再考—平頼盛と尾張国—」というテーマで卒業論文を執筆しています。日頃のゼミは先行研究の把握や史料の分析など、本格的に議論します。また各自の関心ある研究に取り組み、精力的に研究しています。フィールドワークで荘園などに行くこともあります。



ゼミ生一同

日本古代史ゼミ



丸山 裕美子

[日本史/日本古代史 日唐比較文化研究]

ゼミ生によるゼミ紹介

丸山ゼミでは、奈良時代や平安時代を中心とした日本古代史を扱います。木曜4限に、奈良時代の『続日本紀』と平安時代の『御堂閨白記』を読み、史料の読み方や調べ方を学びます。5限には3年生を中心に「自主ゼミ」を行っています。古代史の論文を選んで読み、内容をまとめ、史料や文献を調べて発表します。自分が興味のあること、学びを深めたいことを、自由に楽しく追究できるゼミです。



ゼミ生一同

比較文化ゼミ

新任教員紹介 [2024年4月]



イスマトフ・アジズ

[比較文化/法と社会]

比較文化を専門としており、法や社会を取り巻く問題に関心を持っています。多言語、多文化、多民族国家であるウズベキスタンという国で生まれ、ソ連崩壊を経験しました。ウズベキスタンでは、独立により、制度は大きく変容し、人々の価値観は揺れ動いています。日本においても、グローバル化により、多様な人々がともに暮らすようになり、外国や外国人との関わりの中で課題が生まれています。ゼミでは、これらの課題がなぜ発生し、どう解決していくべきかを、歴史、文化、社会、制度など幅広い視点から学びます。様々な価値観を持つ人々が暮らす21世紀であるからこそ、文献だけでなく物事を判断せず、当事者の見解に是非耳を傾けてほしいと思っています。

日本近現代史ゼミ



クラマー スペン

[日本史/日本近現代史 地方史研究]

ゼミ生によるゼミ紹介

クラマーゼミでは、戦争や法律、差別など、人によって様々な歴史をテーマに研究をしています。先生はドイツ出身ですが、日本語はペラペラ。日本の近現代史について幅広い知識を持っているので、安心して自分の研究内容についてゼミ内で議論を深めることができます。



ゼミ生一同

半年に一度ゼミの飲み会、一年に一度ゼミ旅行があります。新体制になったばかりのゼミなので、去年は日帰りだったゼミ旅行ですが、今年からは泊まりで近現代に関わる様々な場所を回る予定です。

人文地理学ゼミ



柴田 陽一

[人文地理学/地理思想史]

ゼミ生によるゼミ紹介

人文地理学ゼミでは、自身の関心に基づいた様々なテーマを地理学的な視点から考えます。3年生は卒業論文のテーマの決定に向けて調査を行い、進捗状況や調査の結果についてゼミ内で議論しています。4年生はゼミでは3年生への助言を、個人では決定したテーマについて調査を行い、卒業論文を書きます。先生を中心として全員で話し合いながら、温かい雰囲気の中で取り組んでいます。



ゼミ生一同

考古学ゼミ



内記 理

[考古学/東西文化交渉史]

ゼミ生によるゼミ紹介

内記ゼミには考古学を専攻する学生が集まっています。研究分野は考古学に関連するのですが、範囲は縄文、弥生時代など日本に留まりません。中国や果てはエジプトなど、海外の考古学についても学ぶことができます。研究対象も古代瓦や埴輪、鏡など多様なものを扱います。本ゼミの魅力はフィールドワークと室内での研究どちらも行える点です。過去の論文から先行研究を学び、学んだことを野外で実践に活かすというのが考古学の面白いところだと思います。古代に興味のある方、フィールドに出て研究したい方にはぴったりのゼミです。



ゼミ生一同

歴史地理学ゼミ



服部 亜由未

[人文地理学/歴史地理学]

ゼミ生によるゼミ紹介

服部ゼミでの研究は人文地理学や歴史地理学を扱い、時代、地域を限定せずに行えることが特徴です。研究方法もフィールドワーク、古文書や地図の分析など幅広いです。3年生は、自分たちで決めた調査地に行き、報告書としてまとめます。また、他大と交流する機会が多いです。ゼミ内においても、意見交換の機会が多くあり、助け合いながら研究を深めることができます。みんなが研究に対して真剣に取り組んでいるので、とてもやりがいのあるゼミです！



ゼミ生一同

在学生



築山 隆司さん

(愛知県立岡崎高等学校出身)

愛県大を選んだ理由

主な志望理由は、①教員志望だったので中学社会の教員免許を取得できること、②地域研究をしたかったので「県立」で地域との連携が強いこと、③歴史や地理について勉強したいと思っていたこと、の3つです。

愛県大の魅力・よいところ

地域と連携しているイベントや団体(サークル)が多いのは魅力です。地域に根ざして研究するには最適な大学だと思います。自然に囲まれており落ち着いて勉強できたり、公立大学の中ではキャンパスが比較的綺麗だったりする点も魅力です。また歴史文化学科はまじめな人が多いので、熱心に研究を進められる点が好きです。

学科・専攻の特徴

「日本文化学部歴史文化学科」と言われると、いかにも「ザ・日本史」という印象を受けますが、実際には高校までの社会科で習う分野を広く深く学んでいきます。歴史学だけでなく、地理学、社会学、政治学、法学なども学べます。ただし、高校までのような暗記ばかりということはありません。

学生生活で身についたと感じていること

「常識を疑う」という視点が身につきました。当たり前のように言われることでも、「本当にそうか?」と疑うことで問題点が見えてきます。社会の中で受け身になって生活するのではなく、自分たちが社会を創るのだという考えをもつには、不可欠な視点です。

卒業後の夢や目標

中学校の社会科の教員になることです。一人一人がありのままに生きられる社会をつくるためにはどのようにすれば良いのか、ということ、これからの社会をつくる子どもたちと一緒に考えていきたいと思っています。

愛県大を希望する受験生へのメッセージ

受験勉強がしんどいと思ったときは、志望校の大学案内を見ましょう。自ずとやる気が出てきます。自分が今何をすべきなのかをよく考え、書き出して整理し、焦らず一つ一つできることからクリアしていきましょう。素敵なキャンパスライフが待っていますよ!

卒業生

木全 花南さん

(知上市歴史民俗資料館学芸員)



2022年4月より知上市歴史民俗資料館で、学芸員として企画展に向けた調査・研究やイベント・講座をはじめ、様々な業務を担当しています。

大学で学んだことの実践の毎日で、在学中に多方面に興味を持って取り組んでいたことが活きていると感じています。私が今この場所にいられるのは、県大の先生方が熱心で親身なご指導をくださり、背中を押してくださったおかげです。

県大で学んだ時間は、私の人生においてかけがえのないものとなりました。

岩崎 風馬さん

(株式会社文溪堂)



歴史文化学科(歴史)での大学生活は、私の人生の財産です。理論的な思考・客観的な視点が生身につく史料の精読や比較、現場のリアルを体験できるフィールドワークなど、歴史での学びは多岐にわたります。また学内の図書館には、歴史史料が豊富に蔵書されており、良質な学びの環境が整っていると感じます。よき友人や熱心な先生にも恵まれ、充実した4年間でした。現在は文溪堂編集部所属し、漢字ドリルなどの小学校教材を制作しています。歴史での学びを活かすことができていると感じながら、仕事に取り組んでいます。受験生のみなさんも、歴史で学んでみてはいかがでしょうか?

卒業生




愛知人文社会ルネッサンス
Aichi Renaissance - Japanese Studies

愛知県立大学 日本文化学部

長久手キャンパス

〒480-1198 愛知県長久手市茨ヶ週間1522番3

https://www.aichi-pu.ac.jp/academics/japanese_studies/index.html

